

保護者の皆様

大阪府立八尾支援学校
校長 渋川 雅宏
准校長 東 文義

令和4年度 学校教育自己診断の結果について【報告】

★報告の内容は下の4項目



(1) 提出率
(2) 集計結果・分析 (生徒・保護者・教職員)
(3) 記述回答
(4) まとめ

★★★ 分析基準 ★★★

- * 回答欄の「そう思う」または「だいたいそう思う」の回答があったものを肯定的と捉え、逆に「あまり思わない」や「思わない」の回答を否定的と捉える。
- * 達成度を測る基準として「肯定的意見が全体の70%以上」を捉える。また、「否定的意見は全体の30%以上」を課題として捉える。

(1) 提出率

	提出数	提出率	昨年度	合計	総合・提出率
保護者	323/382人	85%	84%	475/548人	87%
教職員	152/166人	92%	99%		
生徒（高等部）	57/77人	74%	72%		

* 昨年度との比較

- 保護者の提出率は、1%上昇した。次年度も引き続き協力を呼びかける。
- 教職員の提出率は、7%下降した。今年度は新たにGoogleフォームを活用して実施したが、「Googleアカウントがわからない」「ログインができない」などの声の一部があった。次年度は、実施前に回答ができる状態であるかの確認を行い、引き続き自己診断の趣旨・ねらい等を踏まえながら主体的な参画を図っていく。
- 生徒の提出率は、2%上昇した。次年度も引き続き協力を呼びかける。

(2) 集計結果・分析 (生徒)

このアンケートは、みなさんが勉強したり、遊んだり学校で楽しくすごせるようにするためのものです。こたえ方は、「はい」「いいえ」「わからない」と書いてあるところを○でかこんでください。

■肯定的意見90%以上 ▲肯定的意見5%以上の上昇
▽肯定的意見5%以上の下降

- 1 学校へ行くのが楽しいですか。
- 2 授業はわかりやすいですか。
- 3 学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。
- 4 先生はがんばったことをほめてくれますか。
- 5 先生はこまっているとき、たすけてくれますか。
- 6 いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。
- 7 卒業後の進路のことを先生は教えてくれますか。
- 8 校外学習、宿泊学習、修学旅行は楽しいですか。
- 9 給食はおいしいですか。
- 10 学校でiPad (アイパッド) を使うことができますか。

	R4肯定	R4否定	R3肯定	R3否定
1	82 ▽	0	92	3
2	77 ▽	2	82	0
3	79 ▽	0	86	2
4	86	4	88	3
5	86	0	87	2
6	58	0	58	2
7	56 ▽	2	63	0
8	84	2	80	3
9	86 ▽	5	95	2
10	68	2		

【考察】

- 10項目中、達成基準に達したもの(70%以上)は7項目あった。
- 昨年より5%以上数値が下降した項目は、1番『学校へ行くのが楽しいですか。』、2番『授業はわかりやすいですか。』、3番『学校では友だちの大切さや社会のルールについて学ぶことができますか。』、7番『卒業後の進路のことを先生は教えてくれますか。』、9番『給食はおいしいですか。』の5項目あった。昨年度は新型コロナウイルスの影響で制限されていた活動が再開できたことにより、全体的に数値が大きく上昇したが、今年度はコロナ前(令和元年度以前)の数値と似たような傾向であった。生徒にとって学校生活が充実したものになるように引き続き丁寧な指導支援を行っていく。
- 基準に達しなかったものとしては、次の3項目が挙げられる。
 - ・ 6番『いじめでこまっていることがあれば、先生は話を聞いてくれますか。』は「わからない」への回答と無回答の数値が合わせて42%あった。いじめに関しては、問題が表面化していない可能性も考えられるため、「いじめに関するアンケート」の実施や校内の「みんなの相談ポスト」の周知など、未然防止・早期発見・早期対応に努めていく。
 - ・ 7番『卒業後の進路のことを先生は教えてくれますか。』は、否定的意見が2%あり、また「わからない」への回答と無回答の数値が合わせて42%あった。進路指導や進路指導の充実を図り、生徒たちにわかりやすい発信をしていく。
 - ・ 10番『学校でiPad (アイパッド) を使うことができますか。』は、今年度新設した項目である。『わからない』への回答と無回答の数値は合わせて30%あった。一昨年にGIGAスクール構想に伴う校内インフラ整備を実施し、無線アクセスポイントが設置され、iPadの活用は増加しているものの学校での取り組みが伝わっていないことが原因と考えられる。取り組み内容の周知方法の検討や、研修などによる教職員のICTに関するスキルアップを行い、より効果的な活用の検討を行っていく。

(2) 集計結果・分析（保護者）

		R4 肯定	R4 否定	R3 肯定	R3 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定
児童・生徒の様子	1 学校へ行くことを楽しみにしている。	1 ■92	5	88	9	91	5	94	6	92	3
	2 授業を楽しみにしている。	2 86	8	82	10	88	5	86	11	80	5
	3 給食を楽しみにしている。	3 ■90	7	87	9	89	6	91	9	90	3
	4 学校行事（運動会・学習発表会・校外学習・宿泊学習など）を楽しみにしている。	4 84	10	85	7	83	8	84	13	85	7
教育活動	5 『個別の教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	5 ■96	2	96	1	96	3	96	1	95	0
	6 子どもの発達段階や課題に応じた授業を行っている。	6 ■94	3	93	2	96	3	92	3	92	3
	7 教科学習や生活指導における教材や教具は工夫・配慮されている。	7 ■93	1	91	1	97	2	91	2	90	0
	8 『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	8 ■97	1	96	1	97	2	96	1	98	0
	9 避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	9 ■92	1	93	1	95	1	91	0	90	0
	10 体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮がなされている。	10 84	2	81	2	83	2	86	3	83	0
	11 いじめについて子どもが困っていることがあれば真摯に対応している。	11 67 ▽	2	72	2	61	2	72	2	70	3
	12 学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	12 86	3	89	1	85	2	86	2	88	5
	13 近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	13 68	10	64	11	76	8	67	11	53	12
保護者との連携	14 ホームページやプリントなどを通じて積極的に保護者に情報を発信している。	14 ■93	4	△	△	90	7	96	2	93	2
	15 児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応している。	15 87	5	89	3	87	4	87	5	86	5
	16 学校では、PTA活動が活発に行われている。	16 88	3	85	4	84	5	92	2	85	2
	17 学習や生活の様子など、連絡帳や学年通信、また懇談会や授業参観などを通じて知ることができる。	17 ■97	3	96	3	95	5	99	1	97	0
教育環境その他	18 教室の掲示物やスケジュールなどの学習環境、また授業で使用する教材や内容提示の方法などが、児童・生徒の特性に応じて視覚的にわかりやすく示されている。	18 ■90	3	90	2	95	3	90	2	78	3
	19 校内でのけがや病気に対する適切な対応ができています。	19 ■90	1	90	1	94	1	89	2	85	2
	20 施設や設備は児童・生徒にとって安全に整備・点検されている。	20 76	6	76	4	79	8	76	5	71	5
	21 災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	21 88 ▲	2	81	2	88	3	88	1	86	2
実習	22 企業・施設・事業所（作業所など）の情報を提供している。	22 ■90 ▽	5	96	4	△	△	△	△	90	5
	23 企業実習・事業所（作業所など）実習の取り組み・支援が適切に行われている。	23 ■92	2	90	7	△	△	△	△	92	2

【考察】

- 23項目中、達成基準に達したものの（70%以上）は21項目あった。
- 10番『体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権尊重にもとづいた指導・配慮がなされている。』の否定的意見は2%あった。教職員としての行動指針の確認、セルフチェックシートの活用などを引き続き行っていく。また、人権研修を計画的に実施し、人権意識をより高めていきたい。
- 11番『いじめについて子どもが困っていることがあれば真摯に対応している。』は達成基準に未達であり、さらに肯定的意見が5%下降した。否定的意見も2%あり、生徒向けアンケートの考察と同様に真摯に受け止める必要がある。また、「わからない」への回答と無回答の数値が合わせて31%あった。いじめ防止対策委員会を中心に「学校いじめ防止基本方針」の改定や教職員の資質向上の校内研修などの取り組みを実施しているが、校内体制がどのようなものか不明な保護者が多くいると思われるので、取り組み内容の発信の在り方を検討していく。学校と家庭とが連携を取りながら未然防止・早期発見・早期対応に努めていく。
- 13番『交流』に関する項目も達成基準に未達であった。居住地校交流は、実施日程や内容などについて相手校との調整がつかずに実施を見送ったり、感染症対策を行った上での縮小した実施になったりと一部制限があった。また、各学部とも近隣の学校園と交流を行っている学年が決められていることや生徒会役員に限られた交流があることなどが影響していると考えられる。「わからない」への回答と無回答の数値は合わせて22%あり、居住地校交流や近隣の学校園との交流が、本校の教育活動とより密接に結びつくようさらなる実践を進めていく。
- 17番『学習や生活の様子を知ることができる』に関する項目は、達成基準に達しているものの、「学校に行ける機会が少ない」「学校の様子がよくわからない。」「授業の様子がよくわからない。」という記述回答がいくつかあった。日々の連絡帳でのやりとりや、児童生徒の学校での様子を見ていただける機会を積極的に設け、開かれた学校づくりを行っていく。

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R4 肯定 (%)	R4 否定	R3 肯定 (%)	R3 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定
教育活動	1	『個別の教育支援計画』『個別の指導計画』にもとづいた指導・支援を行っている。	■93 ▲	4	88	9	94	6	98	2	94	6
	2	児童・生徒の発達段階や課題に応じた授業を行っている。	■91	5	91	7	94	6	96	4	87	10
	3	教科学習や生活指導における教材や教具は、視覚的にわかりやすくするなど、工夫・配慮している。	■92	5	92	5	94	6	93	7	97	3
	4	『学習の記録』を通じて、学習状況や成果を適切に評価している。	■90	8	86	12	98	2	96	4	81	19
	5	避難訓練（地震、火災、不審者、通学バス）や交通安全教室などを通じて、適切な防災教育・安全教育を行っている。	■93	7	91	9	89	10	96	4	94	6
	6	体罰の防止をはじめ、児童・生徒の人権を尊重し、個々の実態にもとづいた指導・配慮がなされている。	88	10	91	8	90	10	91	9	84	13
	7	いじめ（疑いを含む）が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	84	7	81	10	77	8	94	2	77	16
	8	学校生活を通じて、将来の自立・社会参加に向けた教育（キャリア教育）を行っている。	80	15	83	15	73	19	78	20	97	3
	9	企業実習・事業所実習の取り組み・支援を適切に行っている。	76	7	77	11	67	10	70	11	100	0
	10	近隣の小学校・中学校との交流（居住地校交流含む）、高等学校との交流の機会を設けている。	76	20	75	23	85	12	69	30	68	29
保護者との連携	11	ホームページやプリントなどを通じて積極的に保護者に情報を発信している。	■90	8	△	△	85	14	91	6	90	7
	12	児童・生徒についての保護者の悩みや相談に適切に対応している。	■92	6	94	6	96	4	94	6	94	6
	13	学校では、PTA活動が活発に行われている。	88	7	84	10	85	8	93	2	87	10
	14	連絡帳や学年通信を通じて、学習予定や内容などを積極的に提供している。	■95	3	93	5	94	4	100	0	94	6
組織マネジメント	15	校長は自らの教育理念や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。	78 ▲	16	38	53	65	21	87	9	77	19
	16	准校長は自らの教育理念や学校経営の考え方を明らかにし、リーダーシップを発揮している。	78 ▲	12	68	21	62	17	80	11	97	3
	17	学校運営に教職員の意見や会議の結果が反映されている。	66 ▲	26	37	60	58	27	70	22	61	39
	18	学校運営に関する必要な情報が全体に知らされている。	70 ▲	23	47	48	69	17	70	24	58	39
	19	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場である。	71 ▲	24	65	34	67	27	72	24	74	23
	20	体罰防止等の人権尊重について、日々の教育活動に反映できるように、研修等に取り組んでいる。	87	10	84	16	79	15	94	6	84	13
	21	初任・経験の少ない教職員への、育成における取り組みは積極的である。	64 ▲	30	56	38	58	37	76	20	58	36
	22	勤務実態や休憩時間、教材研究や授業準備の時間など、労働条件や労働衛生環境は改善している。	46	51	44	55	35	58	59	41	39	61
	23	個人情報の管理における校内システムは確立している。	80	14	83	13	73	14	87	11	74	23
24	学校予算は適正に編成・執行されている。	75 ▲	11	70	19	71	8	85	9	61	23	
地域連携	25	地域支援においてセンター的機能を発揮し、リーディングスタッフやコーディネーターが動きやすい体制（非常勤講師の配置など）が整っている。	63	19	67	23	58	17	74	11	58	26
	26	地域の幼稚園・保育園・小中学校・高校との連携・支援を行っている。	74 ▲	9	64	24	67	10	76	13	81	3
	27	言語聴覚士・臨床心理士・医師・子ども家庭センターなど、外部機関と連携し児童・生徒の支援を行っている。	85 ▲	8	80	17	87	6	87	9	77	7
	28	夏季研修、来校相談など地域に開かれた研修、相談事業を行っている。	■93 ▲	3	63	27	94	0	93	4	94	3
教務	29	公文書や指導要録等の管理は十分に配慮されている。	87	3	83	8	83	2	87	2	94	3

(2) 集計結果・分析（教職員）

	No.		R4 肯定 (%)	R4 否定	R3 肯定 (%)	R3 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定
総務	30	施設・設備は安全面に十分配慮し、点検を行っている。	61 ▲	36	52	47	67	29	63	37	55	39
	31	PTA活動への教職員の理解・参加・協力は積極的である。	66	26	66	26	64	23	76	17	58	36
	32	ICT教育の推進に必要な機器（タブレット端末など）は充実している。	78	19	80	20	77	18	80	20	81	19
	33	日々の教育活動においてICT機器（タブレット端末など）を活用している。	■91 ▲	7	83	15	90	8	91	9	97	3
生活安全	34	生徒指導について組織として迅速に対応できている。	87 ▲	7	80	16	85	4	89	11	94	6
	35	児童・生徒会活動は活発である。	63 ▲	30	57	37	62	23	74	24	52	48
	36	校内外における行方不明対策や校内巡視は整備されている。	88	9	87	11	83	8	94	6	81	19
	37	災害に備えて、備蓄や避難体制づくりなど取り組みを行っている。	89	8	87	12	81	12	96	4	90	10
保健衛生	38	保健室は健康に関する相談がしやすい。	■90 ▽	7	95	4	89	10	93	6	94	6
	39	校内でのけがや病気に対し適切な対応をしている。	■98	0	97	3	98	0	100	0	100	0
	40	給食は子どもの実態に応じて安全に作られている。	■90	9	91	9	81	15	94	6	97	3
支援教育	41	校内支援（ケース会議・言語聴覚士相談・臨床心理士相談・支援教育相談会及び勉強会など）が受け易い体制が整っている。	87 ▲	5	80	16	81	8	94	4	87	0
	42	校内研修は、専門性を高めて日々の教育活動に活かすことができるように計画的に実施されている。	85 ▲	10	76	22	85	8	83	15	94	6
	43	キャリア教育発達段階表を基にした評価規準を活用している。	69	22	68	27	67	23	70	20	77	23
	44	支援教育に関する専門性向上や教材づくりに役立つ関連書籍、問題集、支援グッズがそろっている。	83	11	／	／	90	4	83	15	81	13
キャリア	45	進路指導に関する教職員向け研修や学習会が計画的に実施されている。	78 ▽	15	86	8	75	17	74	19	90	10
	46	卒業生のアフターケア（進路先訪問や進路変更の相談など）が行われている。	65	7	66	8	56	2	56	13	90	3
行事	47	運動会や作品展など、各教職員の役割分担と連携により円滑に行われている。	80 ▲	16	75	24	73	21	89	11	81	16

【備考】＊新設問、文言が変わっている設問（塗りつぶしている設問）の昨年度の数値は記載していません。

【考察】

- 47項目中、達成基準に達したもの（70%以上）は38項目あった。
- 15番～24番の「組織マネジメント」10項目中、肯定的意見が5%以上上昇した項目が7項目あった。今後も情報共有を大切にしながら、よりよい学校経営に努めていく。
- 22番の『労働条件や労働衛生環境の改善』については、昨年同様に否定的意見の数値が高く、校務運営の体制や業務の効率化への課題、またそこからくる教職員の多忙感がうかがえる。課題を整理し、効率的な校務運営となるよう改善に努めていく。
- 25番～28番の「地域連携」は、全体的に数値が上昇している。新型コロナウイルスの影響で制限があった地域との連携や研修等を実施できたことが上昇の原因と考えられる。リーディングスタッフやコーディネーターが働きやすい体制を整え、今後も地域のセンター校としての役割を担っていく。
- 30番の『施設・設備』は、肯定的意見が9%上昇したものの、達成基準に未達であった。日頃の安全点検や教職員、生徒ともに清掃をこまめに行っているが、校舎の老朽化など改善されない現状がある。否定的意見も36%と高く、特にプレハブ棟（トイレ含む）改善の要望もたくさんあるため、今後も要望を聞きながら改善に努めていく。
- 33番の『ICT機器の活用』は、肯定的意見が8%上昇した。ICTに関する校内研修の実施や、導入されたタブレット端末を授業で活用しやすくなったことが原因と考えられる。
- 41番・42番の「校内支援・研修」は、どちらも肯定的意見が5%以上上昇した。分散型やオンラインでの校内研修等、工夫しながら計画的に実施できたことが原因と考えられる。
- 45番の「進路指導に関する研修や学習会の実施」については、肯定的意見が8%下降した。今年度は小・中学部教職員向けの校内研修等を新たに実施できたので、引き続き学校全体で進路指導に関する研修や学習会を実施していく。

(3) 記述回答まとめ

多くのご意見をいただき誠にありがとうございました。

(複数あったご意見について回答しています。)

1 施設整備に関して

○老朽化がひどいので施設を安全に衛生的に整備してほしい。プレハブ棟を建て替えてほしい。(屋外トイレを含む) 校内の雑草が気になる。

⇒府の予算で今年度和式トイレを洋式トイレに改修しましたが、校舎の老朽化などまだまだ課題が多いのが現状です。プレハブ棟(トイレ含む)などの環境改善に向けて引き続き府に要望していきます。校内の雑草については今年度業者による草刈りを行いました。日頃からこまめに清掃活動や雑草抜きを行うなど、学校環境・美化の改善に努めていきます。また、PTAとも協力しながら、ボランティアによる清掃活動なども検討してまいります。

2 学校行事に関して

○授業参観日を増やしてほしい。通常の学校行事に戻してほしい。

⇒授業参観など、来校いただける機会については時期や日数など検討をしております。学校行事については、新型コロナウイルスの影響により今年度も大阪府教育庁の対策マニュアルに沿って検討を重ねてまいりました。来校人数など一部制限は設けましたが、運動会や学習発表会などの行事を実施することができました。今後も学校での児童・生徒の様子を見ていただけるよう検討してまいります。

○来校や行事の際、校内駐車をできるようにしてほしい。

⇒校内駐車につきましては、児童・生徒の安全確保、学習及び活動機会の確保を第一に考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

○学部別開催の運動会を次年度以降も継続してほしい。

⇒今年度同様、学部別開催の方向で検討中です。

3 教育活動に関して

○学校や授業の様子がよくわからない。写真やホームページで学校の様子を知らせてほしい。日常の様子が見られる機会をつくってほしい。

⇒児童・生徒の日々の様子については、できる限り詳しく伝えるようにしておりますが、連絡帳や学年だより等を通してより学校での様子、授業の様子がわかる工夫・努力をしております。また、ホームページの学校ブログなど、情報発信の充実に努めてまいります。

○運動面の活動をもっと増やしてほしい。

⇒朝のランニングをはじめ、授業や行事などの学校生活を通して体を動かす活動を積極的に行っております。

(4) まとめ

学校教育自己診断アンケート調査にご協力いただきましてありがとうございました。アンケートの結果（記述回答を含む）を全教職員で確認し、各関係部署で検討を行い、課題解決に向けて取り組んでまいります。

【提出率について】

昨年度と比較して生徒（高等部）・保護者の提出率は上昇したものの、教職員の提出率は7%下降した。教職員については、今年度新たにGoogleフォームを活用してアンケートを実施したために数値が下降したが、次年度は事前に回答できる状態であるかの確認を行い、より精度が高いアンケートになるように働きかけていきたい。

【集計結果・分析について】

『生徒（高等部）向け』アンケートは、10項目中7項目が達成基準（肯定的意見70%以上）に達し、『保護者向け』アンケートは、23項目中21項目が達成基準に達した。また、『教職員向け』アンケートは、47項目中38項目が達成基準に達した。

『生徒（高等部）向け』アンケートは、昨年度と比較して肯定的意見の数値が5%以上下降している項目が5項目あり、全体的に数値が下降している傾向にあった。生徒にとって学校生活が充実したものになるように引き続き丁寧な指導支援を行っていく。達成基準に達しなかった3項目については、課題として真摯に受け止め、改善を行っていく。

『保護者向け』アンケートは、昨年度と概ね変わらない結果であった。達成基準に達しなかったいじめに関する項目、交流に関する項目の2項目については、課題として真摯に受け止め、改善を行っていく。また「わからない」への回答と無回答の数値が高かったため、取り組み内容の周知方法の検討も同時に行っていく。

『教職員向け』アンケートは、全体的に数値が上昇している傾向であった。特に、「組織マネジメント」の項目は、10項目中肯定的意見が5%以上上昇した項目が7項目あった。しかし、労働条件や労働衛生環境に関する項目は昨年同様に否定的意見の数値が高いままであった。校務運営の体制や業務の効率化への課題、またそこからくる教職員の多忙感がうかがえる。課題を整理し、効率的な校務運営となるよう改善に努めていく。